



THINK LONDON

CONNECTING BUSINESS TO LONDON



LONDON COMMUNITIES

ロンドンにおける日本人コミュニティ

ロンドンの社会、ビジネス構造の中で重要な部分を占めるのが、グローバル企業や国際的なコミュニティです。ロンドンに拠点を構えるということは、ビジネス・チャンスの実現だけでなく、まったく新しいライフ・スタイルの発見にもつながります。

Think London では、ロンドンのコミュニティに関する豊富な知識を生かして、ロンドンに到着された瞬間から皆様にくつろいでいただけるよう、お手伝いをいたします。

ロンドンの日本人居住者

日英関係を強化するきっかけとなったのは1902年の日英同盟ですが、1世紀を経た現在、ロンドンに在住する日本人は19,000人を超え、これは英連邦全体の日本人居住者数の半分以上に相当します。ロンドンにおける日本人コミュニティは、1つの地域にまとまった大きな共同体ではなく、いくつかの小さい居住地域に分かれています。この中でもっとも日本人が集中しているのは、北部のバーネット区と西部のイーリング区です。北西部のカムデン区、中心部のウェストミンスター、ケンジントン・チェルシー両区も日本人に人気の高いエリアとなっています。

2001年の国勢調査で明らかになったこのような居住パターンの背景には、以前カムデン区にあった日本人学校（現在はアクトン区に移転）の存在があると考えられます。

日産デザイン・ヨーロッパ 世界をリードする 大手自動車メーカー

「ヨーロッパの都市であると同時に世界都市でもあるロンドンに、他の都市と比較することはできません。さまざまな文化、国籍、ライフ・スタイルがうまく融合し、あらゆる場所から最高のものが集まっています。ロンドンが最高のデザイナーを惹きつけるのもこのような理由からです。」（ジェネラル・マネージャー、David Godber 氏談）

日本の対ロンドン投資

日英は引き続き強力な通商関係を保ち、アーネスト・アンド・ヤングの *European Investment Monitor* によると、日本の対英投資は、対欧州直接海外投資 (FDI) の3分の1を占めています。この中でもロンドンへの投資は全体の6分の1を占めており、ビジネス拠点としてロンドンが魅力のある立場を維持していることがわかります。現在、FDI 全体で日本投資が占める割合は、Think London のアジア太平洋地域における活動のおよそ10%に相当します。対ロンドン投資では、アジア諸国の中で日本が最大の投資国となっています。

グローバル・ビジネスにおける重要な都市であるロンドンには、現在400社以上の日本企業があり、ロンドン株式市場に上場している日本企業も20社を超えています。日本企業は、特にウェストミンスターや金融街のシティなどのロンドン中心部に集中する傾向がありますが、ロンドンの西部、南西部などにも小規模な集中が見られます。

日本企業の3分の1は、金融・ビジネスのサービス関係で、10パーセントがメディア関係となっています。情報通信技術およびソフトウェア業界、衣料・靴などのファッション業界、電子業界も重要なセクターです。当地に拠点を置く日系企業の3分の2以上は、ロンドンのオフィスを営業・マーケティングの拠点や欧州総括本部とし、欧州諸国への理想的な足がかりとして利用しています。

ビジネス支援のネットワーク

ロンドンで活躍を続ける日本のビジネス・コミュニティは、長い歴史を持つ優れたサポート・ネットワークによって支えられています。例えば、通商や投資の支援を行う主要機関には、ウェストミンスターの日本大使館、金融街の中心部にある在外日本人商工会議所、ウェストエンドにあるジェトロ（日本貿易振興機構）などがあります。

ジェトロは、その幅広いサポート・ネットワークを通じて対日投資を促進する一方、ロンドンに進出する中小規模の日系企業がビジネス・サポートにアクセスできるよう援助しています。日本大使館の広報文化センター (JICC) は、日本に関する包括的な情報サービスを提供し、英国における日本文化の広報活動を行っています。

その他の協力機関としては、英国とアジアのテクノロジーを促進する、ウェストエンドに拠点を構える非営利団体、The Asia Pacific Technology Network などがあります。日本と英国で毎年交互に開催される同団体の年次総会は、今年で20年目を迎えます。

メニコン 医療用品の製造と販売

「ロンドンには、ビジネス上の利点だけでなく、個人的な利点もあります。国際的な雰囲気のある町なので、とても居心地がいい上、そのビジネスに対する態度や大規模な顧客ベースによって、成長拡大にはうってつけの場所です。」（代表取締役、山下氏談）

日本からロンドンへのアクセス

国際的にもっともアクセスしやすい都市といわれるロンドンには、長い間、日本人に人気のある訪問地となっています。2003年には230,000人以上の日本人が当地を訪れており、ロンドンのヒースロー空港と大阪、東京を結ぶ直行便は週49便に及びます。ロンドンには多数の日系旅行会社もあり、英国航空 (BA)、全日空、日本航空、ヴァージン・アトランティック航空の4社が日本への直行便を就航させています。

ロンドンの生活

1世紀以上に渡って、ロンドンの日本人社会は、日本の生活、言語、文化を促進する多数の団体によって、高度な日本人社会の基盤を築き上げてきました。

英国内で日英の相互理解を促進する主な団体としては、**1891**年に創立された *Japan Society* があります。同団体では、日本文化に関する知識や理解を深めるだけでなく、社会、文化交流のフォーラムの場も提供しています。

1972年創立の国際交流基金は、主に、日本研究、社会科学、言語教育、芸術、メディアなどの分野で学術、文化交流活動を行っています。ロンドンを拠点とする他の社会的なネットワークとしては、ロンドン日本クラブや日本文化協会 (JCS) があります。

日本人社会特有のニーズに対応できるよう、不動産や歯科・医療、美容院、翻訳、メディア関係、旅行代理店などさまざまな専門的なサービスも提供されています。

学校

ロンドンにはエナ (ENA) と日本人学校という、2校の全日制的日本人学校があります (所在地は共にロンドン西部のイーリング区)。これらの全日制学校は主に日本人子弟向けのもので、日本のカリキュラムに従って日本語で教育が行われています。その他にも日本人子弟を対象に午後、夕方、土曜日などにクラスを開講するパートタイムの教育機関が**10**校以上あります。この中にはロンドン北部のエナ・フィンチリー校、西部のイーリング区にある進学舎などがあります。フィンチリー区には、年少の子供を対象にした幼稚園 (前田学園) もあります。

大学

日本は、現在、ロンドンの高等教育機関にとって、**2**番目に大きな留学生受入れ国の**1**つとなっています。日本人のロンドン留学の傾

向は、年々高まっており、過去**6**年間で学生数は**12**パーセントも増加しています。現在ロンドンの日本人留学生は**2400**人以上で、これは英連邦全体での日本人留学生総数の**3**分の**1**以上にあたります。**2002 - 3**度の日本人卒業生数は、**800**人となっています。

レストラン

食の楽しみでも世界的な中心地といわれるロンドンには、本格的な日本料理を味わえる数多くの最高級レストランがあります。この中には、ミシュランの**2**つ星に輝く *Nobu* と *Umu* (共にメイフェア) も含まれます。ナイツブリッジにあるモダン・ジャパニーズの高級レストラン *Zuma* から、北西部のカフェ・ジャパン、鮎清など気軽に楽しめる寿司バーまで、ロンドンにはあらゆる嗜好を満足させるレストランが揃っています。

食品店

ロンドンの日本人社会には、日本人居住者やレストラン経営者のニーズに合う幅広い食材を扱う日本食品店や専門のスーパーマーケットが揃っています。中心部のアリガトウ、南西部の三浦屋、北部のアタリヤなどが、その一例です。

医療

ロンドンにはいくつかの日系医療センターがありますが、そのほとんどは日本人が多い居住区に診療所を設けています。シティとイーリング区にはジャパン・グリーン・メディカル・センターがあり、日本クラブ・メディカル・クリニックはロンドン中心部と南西部の**2**ヶ所に診療所を設置しています。北西部の傾

バーネット区には、ロンドン医療センターもあります。

芸術・文化

日本文化は、ロンドンのアート、文化シーンに多大な貢献をしています。日本文化の紹介に特に積極的な *Japan Society* では、コレクションや展示会なども含め年間**90**以上のイベントを開催しています。各種の文化活動プログラムを提供する *Asia House* や、世界中からの関心を集めているイズリントン区の *Japanese Gallery* もあります。大英博物館は、彫刻、装飾芸術、刀、金属細工、絵画、版画など新旧の優れた日本の芸術作品を蔵し、そのコレクションは、ヨーロッパでも有数のものです。

書店、図書館、メディア

ロンドンは、メディアや放送の分野においても世界でもっとも重要な中心地のひとつです。日本の主要新聞も発行され、朝日、読売、毎日、日本経済新聞などはロンドンに支社も置いています。日本人居住者は、地元の図書館や日本大使館広報文化センター (JICC) や *Japan Society* の図書館などを利用して、日本語のニュースレター、書物、オーディオ素材など豊富なコレクションにアクセスできます。テレビ朝日と日本語衛星テレビ (JSTV-ヨーロッパ) もロンドンにオフィスを構え、ロンドンにいながら人気の高い日本語ケーブル・チャンネルを楽しめるようになっています。

宗教関係

あらゆる主要宗教の信仰者が居住するロンドンには、*Buddhist Society* 発祥の地でもあります。仏教団体としては、この他にも、正行寺の三輪精

舎、スカーヴァティー仏教会とコミュニティ、日蓮仏教会などがあります。

Think London の提供するサービス

Think London では、これまでアジア太平洋諸国からの**200**社以上の企業を対象に、ロンドンでの事業設立と開発、拡張のお手伝いをしてきました。日本企業では、住友製薬、日産デザイン・ヨーロッパ、プレステージ・インターナショナル、メニコン、*Agnes Ag* をはじめとする多国籍企業や中小企業のロンドン進出を支援し、そのビジネスを成功に導くための便宜を図ってきました。

ロンドン日本人コミュニティのリソースに関するさらに詳しい情報をご希望の方は、Think London までお気軽にお問い合わせください。